

朝の礼拝

聖書 ローマの信徒への手紙 11章 33節 (新約聖書291頁)

ああ、神の富と知恵と知識のなんと深いことか。だれが、神の定めを究め尽くし、神の道を理解し尽くせよう。

神の富

この手紙を送ったパウロは地中海、今のトルコやギリシアの町々に住む異邦人に、イエスをキリスト、救い主として福音を伝えた伝道者です。地中海を帆船に乗り、嵐に遭っては命がけで、夜空の星を仰いではその輝きに励まされる旅でした。

実際、パウロは同じローマ書の1章20節で「世界が造られたときから、目に見えない神の性質、つまり神の永遠の力と神性は被造物に現れており、これを通して神を知ることができます」と、天地万物、自然の営みを通して神を知ることができると言っています。

地球温暖化による気候変動で、地球が悲鳴をあげています。私たちも身近に水害を経験しました。短期間に起こる急激な寒暖の差も感じます。私の記憶では季節の変化はもっと穏やかに感じられ、そのグラデーションと共に秋から冬を迎えたはずです。

海、大気、雨、雪、神様が循環して与えて下さっている自然の恵み、神様の富をもっと大切にしたいと思います。私たちの当たり前だと思っているところには、とても大切なものがあります。季節の移り変わりを迎え、神様への感謝をあらためて覚えます。

(しばらく黙想しましょう)

恵みにあふれる主よ、あなたは季節に従い、豊かな恵みを通してあなたを知ることができるようにしてくださいました。しかし世界には水害、干ばつによって命の脅かされている人々があります。また戦争によって大地が、実りが、尊い命が傷つけられています。どうかわたしたちの愚かと過ちを赦し、互いに愛し、あなたの富と知恵と知識の豊かさに気づくことができますように。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン